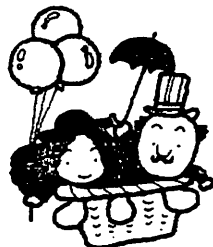


ろくおん 通信

No. 70号

発行：盲人福祉文化センター1995年2月15日

「音声訳」を考える（第21回）



録音の順序と各ポイント その8

<「校正マニュアル」より>

13. A面のおわり（各巻）

①どこまで録音できるか……スタジオで使用しているオープンテープは片面およそ48分前後録音できるが、必ず45分か45分以内に録音する。あまり短かすぎるのはB面も同様に時間が短くなってしまうので困る。また、区切りを考え、会話、図表、写真などの説明の途中は極力避ける。

②途中で面、巻をかえざるを得ない時…長い表や対談などの途中で、どうしても面や巻を変えざるを得ないときには「○○○の途中ですが」などのコメントを入れる。その際、B面(次巻)の梓アナは、「表○○の続きです。」「○○さんの話の続きです。」などとコメントする。

チェックポイント

☆A面からB面に変わるときの本文の区切りは適切かどうか。

補足1 録音時間について

片面の録音を45分以内に終わる理由は、カセットテープが各メーカーによって録音可能な時間に少しずつ違いがあり、同じ「C-90」でも46分～47分前後あります。オープンテープに最後まで録音すると、カセットにコピーしたときに最後が入りません。また、コピー機によってもほんの少しずつ回転速度が違ってきますので、少し余裕が必要です。リクエストされたもので個人にそのテープを差し上げるようなものであれば特に問題はありますが、図書館などに納めるものは、コピーするのが普通ですので、録音時間は45分を越えないように注意しましょう。

しかし、A面の録音時間をあまり短くしすぎると、それに合わせてB面も、A面よりさらに録音時間が短くなり、全体として録音の巻数が増えることにもなります。例えば、仮にある巻のA面を40分録音するとすれば、その巻のB面も40分以内になり、その巻は所定より10分以上は録音する量が減ります。仮に最終巻が4、5分くらいオーバーすることになると後で悔やむことにもなります。編集していれば調整することも可能ですが、編集できないと1分超過しても1巻分増えます。ある程度巻数も予想して録音時間を調整する必要があるでしょう。

盲人情報文化センターでは、最終巻が5巻や9巻になって、録音時間が「数分」になるような場合、録音図書を納めるケースが4本入りなので、編集で可能な時はできるだけ5巻は4巻に、9巻は8巻にします。切りよく終わることも大切ですが巻数、ケース数なども考慮しています。

ついでに、録音開始時間のことにもふれておきます。カセットテープでの録音の場合は、録音開始時間をリーダーテープも含めて、15秒から20秒経過してからはじめています。これは各メーカーによってリーダーテープの長さが違ったり、コピー機が高速（16倍速の場合、1秒間に16秒分を録音する。）で回転するので、安定走行するまでの時間などを考慮しています。リーダーテープ後すぐに録音しないように、少し間を取ってから録音を開始するようにしましょう。また、雑誌などのように繰り返しコピーするテープは、はじめの方が痛んでいる場合があります。

補足2 対談などの途中で面、巻をかえざるを得ない時

対談者や表などの途中で面や巻を変えざるを得ないときは、まだ途中であることを断ります。黙っていると対談者の発言や表の説明が終わったのかと思われま

す。また、B面を始めるときにも、いきなり読み始めると誰がしゃべっているのかわからなかったりしますので、B面のはじめも「〇〇さんの発言の続きです。」などと入れます。

— 例 —

「〇〇さんの話の途中ですが、A面を終わります。このままの位置でB面へお返し下さい。」

「テープ第〇巻B面、〇〇ページ、◎▼◆、〇〇さんの話の続きです。」

漢 字 の 処 理 の 基 本

1. 漢字の補足の基本

これまで『ろくおん通信』などで、漢字の処理を幾度も取り上げていますので、漢字の処理の必要性は理解されてきていますが、処理の考えかたなどはかなり混乱も見られます。漢字を説明する場合、いくつかのケースによって補足の方法も違い、「最も適した処理」を行うことが問題になってきます。

「最も適した処理」というのは「漢字をわからせる処理」ということとは違います。後者にこだわって処理が混乱している場合が多いようです。

漢字の補足の基本は、「漢字をわからせることが目的ではなく、内容を正確に伝えること」なのです。つまり、漢字を分からせても内容が正しく伝わらないのでは処理としては正しくはありません。同様に一部の人にだけ分かるような処理も不特定多数の人が聞く録音図書の処理としては正しくありません。

何故、補足をするかがわかれば、今度は、どう補足をするかが問題になりますが、この何故のところで誤解が生じて、「漢字が分からないから漢字を分からせることだ」と誤解すると、処理のポイントがずれてくることになります。

例えば、仮に「コンシュウ」を正しく伝えようとする時に、「ジュウハノギヘンニヒ」では、漢字の説明はしていますが、誰にでも正しく伝えたことにはなりません。「コンシュウ、シュウハアキ」または「コンシュウ、コノアキ」などと補足すれば、誰にでも正確に伝わります。同様に、「ボクシのことを書いてと頼んだらボクシのことについて書いてきた。」といったようなケースで、説明が必要なとき、「ハジメノボクシノボクハ、スミジノスミ、シハコドモノコ、アトノボクシハ、マキバノマキニ、キョウシノシ」これも字の説明はしていますが、補足の仕方としては正しくありません。字を説明すればよいわけではありません。つまり、字を分からせればどの言葉かが特定できる時にはいいのですが、漢字を説明してもその言葉が特定できなければ補足をしたことにはならないからです。同音異義語の補足は、その言葉、熟語を特定できるように補足することが目的です。字の説明の目的が分かっているれば、もう少し別の方法が考えられるでしょう。例えば「ハジメノボクシハヒトノナマエ、アトノボクシハキョウカイノボクシ」。補足を必要とするケースはさまざまです。それぞれのケースによって処理の仕方は違ってきます。それぞれのケースで一番相応しい処理を考えることが

大切です。

漢字は同音異義語や異音同字（音訓）がたくさんあり、音だけでは書いてある内容が特定できなかったり、別の内容にとったり、意味がわからなかったりといったことがおこり、これを音声訳者が適切な言葉を補足しながら「書いてある内容がより正確に伝わるように」処理をするわけですが、「どんなときに、どこで、どんな言葉で、どのように」処理するかは、かなり専門的で高度な技術です。せっかく補足してもかえってわけがわからなくなってしまうようでは困りますので、日常的に研究していくことが大切だといえます。

漢字の処理の例文

【例文1】

十七条憲法のころ

上原 和（成城大学教授）

聖徳太子の「十七条憲法」というと、だれしもすぐに、第一条の冒頭にある、あの有名な「和を以て貴しと為す」という言葉を思い起こされるに違いない。私ごとで恐縮であるが、私の名前の「和」は、「論語」からとったということ、小さいときから父によく聞かされた。女の子と間違われていやだ、と苦情をもらすたびに、父はそう答えた。

【例文2】

先生とこの歌に就いて議論した事がある。先生は日本語は強弱のアクセントより、イントネーション——抑揚——上がり下がりの言葉だから、強弱位置の決定が意味伝達の成否の鍵となるヨーロッパの声楽曲の作曲の方法と異って、如何に旋律を日本語の抑揚に沿って作るかが大切であると言われ、曲に当たっては常にそう実践されていた。僕は太極拳に於いてはそのセオリー賛成ではあったけれども、100パーセント賛成という訳には行かなかった或る時、話しが又々その事になって「赤とんぼ」に論点が集めた。僕はあかとんぼと言いますが、と言った。要すれば傍点を付した位置、かたとが抑の頂点になるのでは無いかと言ったのである。童謡「赤とんぼ」では、旋律あかとんぼ、と頂点をあに置いて作られているのである。作曲者である先生「そんな馬鹿な事があるものか。昔からあかとんぼと言うのが普通です。だて、赤と言う時、誰でもあかと言う。あかとんぼ

などと言えば垢とんぼと聞こえてしまう。」と言われた。
 僕は心の中で、でも赤いはあかいだし、赤犬はあかいぬだし、赤信号もあかしんごうだし、と思ったけれども、老人を追い詰めるのはいやだったし、先生にとってはえらく重大でも、僕にとってはそれ程でも無いセオリーの話だったので、話題を変えてしまった。

【例文3】

2

莫高窟もいいけれど、私としては敦煌の町なかをぶらつきたい。ぶらついて、仏さまではなく、生きた人間や町並みをスケッチしたい。

午後からの莫高窟見学をパスして、休息希望の五、六人の諸氏とともにマイクロバスでホテルに戻る。シャワーを浴びてから、スケッチブック片手に待望の敦煌散歩。

昼間でもがらんとしたメインストリートを、ロバが引く荷車が何台も、のんびり通行しているだけで、車の影はまったくない。バスもトラックも通らない。

昨夜も往復したこの大通りは「盤旋路」（なんと読むのか知らない）と書いて、敦煌市庁をはじめ官公庁、博物館、郵便局などが、とびとびに並んでいる。「地方裁判所」と書いてある小さな木造庁舎のすぐとなりに、大きな鉄筋の庁舎が建っていて、こっちには「公安部」の看板がかかっていた。対照的な庁舎の大小が、公安部と司法部の力関係を暗示しているようである。

【例文4】

駄文

東京都文京区千駄木五丁目。これが私の住所である。しかるに、駄の字を、馬ヘンに太と書かずに馬ヘンに犬と書いて郵便を寄越す人がいる。いる、どころではない、大変多い。誰でもつい、何となく犬を書いてしまうらしい。そういう、間違いやすい字というのはあるものだと思う。しかし「駄」などという字は存在しない。第一、これでは私が駄犬を飼っているような感じがするではないか。とはいうものの、一字で駄犬を表すうまい発明という気がしないでもない。

正誤表から・・・(44)

語句	誤読	正しい読み	語句	誤読	正しい読み
小気味	コギミ	コキミ	前言	ゼンゴン	ゼンゲン
潔く	キヨク	イサギヨク	別天地	ベツテンチ	ベッテンチ
足掻き	アシカキ	アガキ	苦界	クカイ	クガイ
極月	キョクゲツ	ゴクゲツ	浮彫	フチョウ	ウキボリ

二通りの読みがあって意味が異なるもの・・・(31)

背向	ハイコウ ソムクことと向かうコト カガイ 背を向かい合わせるコト	大兵	ダイヘイ ダイヘイ 体の大柄選手 たくさんの兵士
手間	テマ 手の指の間 テマ 費やす時間	小兵	ショウヘイ コヘイ 少人数の兵 体の小さいこと。
先様	サキサマ 先方の敬称 センサマ 先にきた客。先客	正味	ショウミ セイミ 中身。 本当の味

○●◎◇◆□■▲▽▼▼※〒※* @ \$ ☆★○●◎◇◆□■▲▲▽▼▼※○●◎◇

きれいに録音するために(第11回)



機械の雑音を減らす

これまで、本人が気がつかずに発生させている雑音や環境による雑音などを紹介してきました。

今回からは、機械によるいろいろな雑音について考えていきます。

はじめに、前回紹介しましたマイクジャック、マイクプラグの種類の違いなどによる雑音について考えます。

最近、日盲社協で推薦していますソニーのカセットデッキは、マイクジャックは二つありますが、モノラル録音が可能なように改良してあるために、片方に入れるだけで録音できます。(後ろの切替スイッチで、ステレオ録音も可能)このカセットデッキを使う場合は、分岐コードは必要ありませんがマイクのジャックは

標準プラグを使用します。ステレオ標準プラグもミニプラグもステレオミニプラグもそのままでは使用できません。ステレオ標準プラグの場合は録音はできますが、「ジー」という雑音が発生してしまいます。マイクのプラグの種類が標準プラグ以外は、プラグアダプターを使って規格を合わせますが、プラグアダプターの種類を間違えると録音ができても雑音が発生してしまいます。プラグアダプターのジャック（マイクのプラグを差し込む側）も、標準とミニの二種類あり、さらにそれぞれに、ステレオ用とモノラル用がありますから、使用しているプラグと同じ種類のジャックをもったプラグアダプターを購入します。当然のことですが、プラグアダプターのプラグの方は、標準プラグのものを選びます。

「標準」は大きい方で「ミニ」は小さい方です。ステレオとモノラルとの区別は、ジャックの先が二重の輪があるのがステレオ、一つはモノラルです。ただし、プラグは飛び出していますからわかりますが、ジャックの場合は見ただけではわかりません。購入するときに確認することが大切です。

プラグもジャックも4種類ありますから間違わないようにしましょう。

今回は、数人の方から雑音がでて困っているという声が出され、調べていくとプラグの種類の間違いによることがわかりました。中には、雑音がそんなに大きな音でないために、知らずに録音している方もあるかもしれませんが、バックに「シャー」とか「ジー」という雑音が録音されている時は、ジャックとプラグの種類を間違っていないかをチェックしてください。

電池が切れていたり、マイクや録音機接続の接続不良などでも、雑音が発生させます。また、マイクコードなどを束ねたりして置くと誘導ノイズが発生して「ジー」という雑音が出ることもあります。また、近くに冷蔵庫や蛍光灯などがあっても「ブーン」という唸るような雑音が発生することがあります。

音による判断としては、

バリバリ →マイクやコード類の断線 録音機をポーズ状態にしていろいろな所をさわって音がした所が不良です。自分で修理できなかつたら依頼する。

ブーン **ジー** →何か同調しているものはないか、マイクの種類は合っているか ヘッドは汚れていないか、などを調べる

シャー →ドルビーで録音していないか、テープセクターは合っているか。

リクエスト図書一覧

以下のリストは、読者から音声訳の依頼を受けている本です。
グループの方で引き受けて頂ける方がありましたらご連絡ください。

- 『日月神示 神一厘のシナリオ』中矢伸一著 <超心理学>
- 『「株」入門』杉村富生著 <金融>
- 『店頭株投資情報』小川益宏責任編集
- 『パパとママのための遺伝子相談』スーリング・M・バック他著<医学>

引き受けて頂いた原本	グループ
『礼拝』レイモンド・アバ著<宗教>	えくてもあ
『これでいいのか世界史教科書』	えくてもあ
『評伝 国吉康夫』小澤善雄著	えくてもあ
『ぼくと野球と糖尿病』新浦寿夫著	えくてもあ
『上海より上海へ』麻生徹男著	グループ汐
『死刑囚 永山則夫』佐木隆三著	テライブライ-にしのみや
『七三一部隊のはなし』西野留美子著	テライブライ-にしのみや
『天使の自立 下』ドニー・シエルダソ著	みなわ
『わたしは知枝』楠千里江・楠俊雄編	個人

「音声訳研修の会」は休みます

2月9日(木)に予定していました「音声訳研修の会」は都合により延期させて頂きました。再開は、95年4月以降に予定しています。その時は『ろくおん通信』等でお知らせします。また、終了後に行っていました「グループリーダー連絡会」も同様に休みます。

この度の阪神大震災で被災されました方々には、心からお見舞い申し上げます。

〈〈〈 3月3日のボランティア交流会は5月に延期 〉〉〉